

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

②事業者情報

名称：	ゆうゆうくじら第2保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	梶 弘子	定員(利用人数)：	60 名
所在地：	〒 362-0021 埼玉県上尾市原市4004-1	TEL	048-722-6111

③評価実施期間

令和2年4月1日（契約日）～令和2年10月15日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

自然に接する環境を活かし、食育をはじめとする独自の育みが進められています

園に隣接する畑は保育園が活用する畑のイメージを遙かに超えるスペースと充実度であり、それら環境を活かした「知・徳・体・食」の育みは、家庭や他の施設で味わうことができない貴重な経験を子どもたちにもたらしめています。特に食育については野菜の栽培・収穫・調理を通して進められており、その成果が残食の少なさとなって現れています。

体力向上を中心に子どもたちの安全と健康が維持されています

毎日のリズム体操、外部講師を招いての体操指導等を日常の活動に取り入れており、マラソン大会を開催するなど子どもたちの体力向上に注力した取り組みがなされています。雨天時のホール活用、畑での収穫など楽しみながら自然に子どもたちの体力が養われるよう設定がなされており、「遊具点検、午睡チェック等々の取り組み」・「コンパクトにまとめられたハードと個性に向き合う体制」とあわせて子どもたちの安全と健康維持がなされています。

新型コロナウイルスについて衛生面での対応のほか創意と工夫により活動の充実がなされています
今冬からの新型コロナウイルス蔓延防止についてはマスクの着用・消毒の徹底・アクリル板の設置・体温測定装置の設置等にて対応を図っています。またできる活動が限られてくる中でも職員の創意と工夫により充実した活動が実施できたことは園および職員の保育力の高さを示しています。

◇特にコメントを要する点

開園から11年目を迎え、設備の買い替えや修繕等を課題として捉えており、改修等・職員資質向上等ハードおよびソフトの両面に対する予測と考察のもと5項目について計画が策定されています。本評価を通じて下記の目標と課題を抽出しており、計画とあわせて管理職・職員が一体となって進めていくことが期待されます。

【職員育成】

- ・職員への理念浸透に対する継続的取り組み
- ・ポイントを押さえた記録作成

【第三者評価の活用】

- ・職員自己評価フィードバック時の活用
- ・実施した利用者調査結果の考察と分析
- ・PDCAサイクルにおけるC（検証）とA（改善）の強化

【地域交流】

- ・福祉全体ため・在園児のため等目的の考察を含め今後の地域貢献についての検討

【標準化】

- ・マニュアルの浸透と更なる内容理解

【保育の向上】

- ・子どもたちの主体的な活動における多様な展開のための工夫
- ・職員の専門性の向上と説明・表現を組み立てる力の醸成

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

開園して11年目で初めて第三者評価を受審しました。今年は新型コロナウイルス感染症の予防対策に追われ、行事もできない中での受審となりました。結果は、予想していた通りというのが正直な感想です。結果を職員間で共有して今後の保育につなげていきたいと思えます。有難うございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり